



国際認定フォーラム

1つの認証で世界中が認知



はじめに

国際認定フォーラム（IAF）は、マネジメントシステム、製品、サービスおよび要員など様々な分野の適合性評価活動に従事している認定機関、認証機関協議会その他の団体の国際組織である。



沿革

IAF は、1993年1月28日に米国ヒューストンで開かれた「品質システム審査登録機関と認証プログラムとを認定する機関」の最初の会議で結成された。この会議には、米国、メキシコ、オランダ、英国、オーストラリア／ニュージーランド、カナダおよび日本から代表者が出席した。

その会議の後、会議に参加した機関によりIAFが結成されたことを伝える声明が発表された。IAFの目標は、適合性評価に従事する機関を認定するためのプログラムを運用し、1つの地域または国における製品、プロセスまたはサービスの認証が他の地域または国でも受け入れられるようにすることであった。さらに、このプログラムを通して、IAFは認定機関により使用される同等性を有した適合性評価手順の策定も目指していた。

メンバー機関は、上記目標の達成、各機関の認定システムに係る相互承認の望ましい姿に関する合意、さらに各機関の認定プログラムに関する情報や手順を交換するといった相互協力に向けて、定期的に協議を行った。

後に、このような会議といえばIAFの会議と認識されるようになる。会議の趣旨は、相互理解を深め、国際貿易のためにこういった認定プログラムの運用に対する信頼を確立することであった。

IAFの役割と目標

IAFの第一目標として、適合性評価の一元化された世界的プログラムを策定し、認定された証明書および認証の信頼性を保証することにより企業およびエンドユーザーに対するリスクを軽減することが挙げられる。

認定とは、規格に基づき認証を与える適合性評価機関が、国際規格および要求事項の遵守により立証された職務上の必須能力および公平性を備えていることを企業およびエンドユーザーに対して証明することをいう。

IAFの第二目標として、認定機関メンバーの間で相互承認協定（MLA）を確立することが挙げられる。こういった協定の目的は、その名前が示すとおり、認定された認証がMLAの調印者間で相互に承認されることを保証し、1つの認定に基づき認定された認証が後に多くの市場で受け入れられるようにすることである。

企業にとってのMLAの利点は、規格、仕様書および適合性評価方法が同じであれば、1つの証明書または認証が世界中で認知されるようになり、認定された認証のコスト削減につながり、製品またはサービスが国際貿易パートナーにより拒否されるリスクも軽減できる点にある。

MLAは、技術的障壁を排除することにより世界貿易の自由化に貢献する。IAFは、「1つの認証で世界中が認知」という目標の達成に向けて一元化されたシステムを実現する最も効果的な方法を見出すべく努力している。

2000年11月にメンバーにより承認されたIAF憲章は、こういった目標を正式に定めている。

● 国際認定フォーラム（IAF）は、共通の貿易促進目標を達成するために世界的規模で協力し合うことに同意した機関の国際組織である。IAFは、市場で受け入れてもらうために必要な信頼をもたらす適合性評価実施の原則および事例を策定する主要な国際フォーラムである。IAFは、マネジメントシステム、製品、要員の認証機関および／または検査機関の認定を通して活動する。

● IAFは、IAFの認定機関メンバーが認定した検査・認証機関により発行された適合性証明書が世界中で受け入れられるように奨励し、IAFの活動およびプログラムを通してすべての利害関係者への付加価値を高めるために努力する。

● IAFは、認定された適合性証明書の承認を通して世界貿易の促進に尽力するパートナー認定機関および利害関係者グループの代表者との結びつきを世界的規模で推進する。

● IAFは、適合性評価を世界的に実施するための適切なプロセスおよび事例を策定および／または認めると共に、かかるプロセスおよび事例がIAF認定機関メンバーおよびその認定された認証・検査機関により一貫して適用されることを保証する。

● IAFは、プログラムの策定時に広範囲に利害関係者の意見を聞くと共に、利害関係者に付加価値のある成果をもたらすため、可能なかぎり最良の適合性評価規格を策定できるよう努力する。

● IAFは、他の主要な国際機関および産業界グループとの連携および協力を通して世界貿易を促進する。



世界市場における適合性価の重要性

貿易自由化の推進および新しい製造・流通技術の開発により、世界貿易の急速な発展が促されてきた。その結果、何百もの国内および多国籍の第三者適合性評価機関が出現している。

これらの機関は、公共部門のみならず民間部門においても、膨大な範囲の製品、材料、設備、プラント、プロセス、作業手順およびサービスの審査を行っている。さらに、品質、用途への適合性および操業時の継続的安全性を含む、様々な事例についても報告している。

その包括的目標は、それぞれの買い手、所有者、ユーザーまたは消費者に対するリスクを軽減することである。



IAFメンバーシップ

IAFのメンバーシップは、複数のカテゴリーに分かれている。

認定機関メンバーシップ：

品質システム、製品、サービス、要員、環境マネジメントシステムの認証機関を認定するためのプログラムや、適合性評価に関する他のプログラムを運用および管理する機関が対象となる。認定機関メンバーはIAF MLA（相互承認協定）に加入する意思を宣言しなければならない。

協議会メンバーシップ：

国際的な、または1つの経済圏もしくは地域内の、同様の組織グループを代表する機関または協議会が対象となる。

パートナーメンバーシップ：

1つの経済圏もしくは地域内の、または国際的な利益を代表する組織、政府もしくは規制当局の一部である組織、または認定機関ではないが適合性評価に関心があり、IAFの目標をサポートする機関が対象となる。パートナーメンバーは、IAFの技術作業への参加を勧められる場合がある。

特別承認資格：

IAFは、IAFと共通の目標を掲げる機関に特別承認資格を与えることができる。このような機関はIAFメンバー会議に代表を送り、参加することができるが、議決権はない。特別承認資格は、IAF MLAの履行が奨励される地域グループに与えられることもある。

オブザーバーメンバーシップ：

特定の組織との緊密な関係を進展させることがIAFメンバーに最高の利益をもたらすとIAF理事会が判断する場合、理事会は、その組織に1年以内の期間のオブザーバー資格を与えることができる。なお、このオブザーバー期間は期間終了時に更新が可能である。

オブザーバーメンバーは、適宜に理事会の判断に応じて、IAFの会議への出席および／またはIAFの技術作業への参加を勧められる場合がある。ただし、オブザーバーメンバーはいかなる事項についても議決権はない。

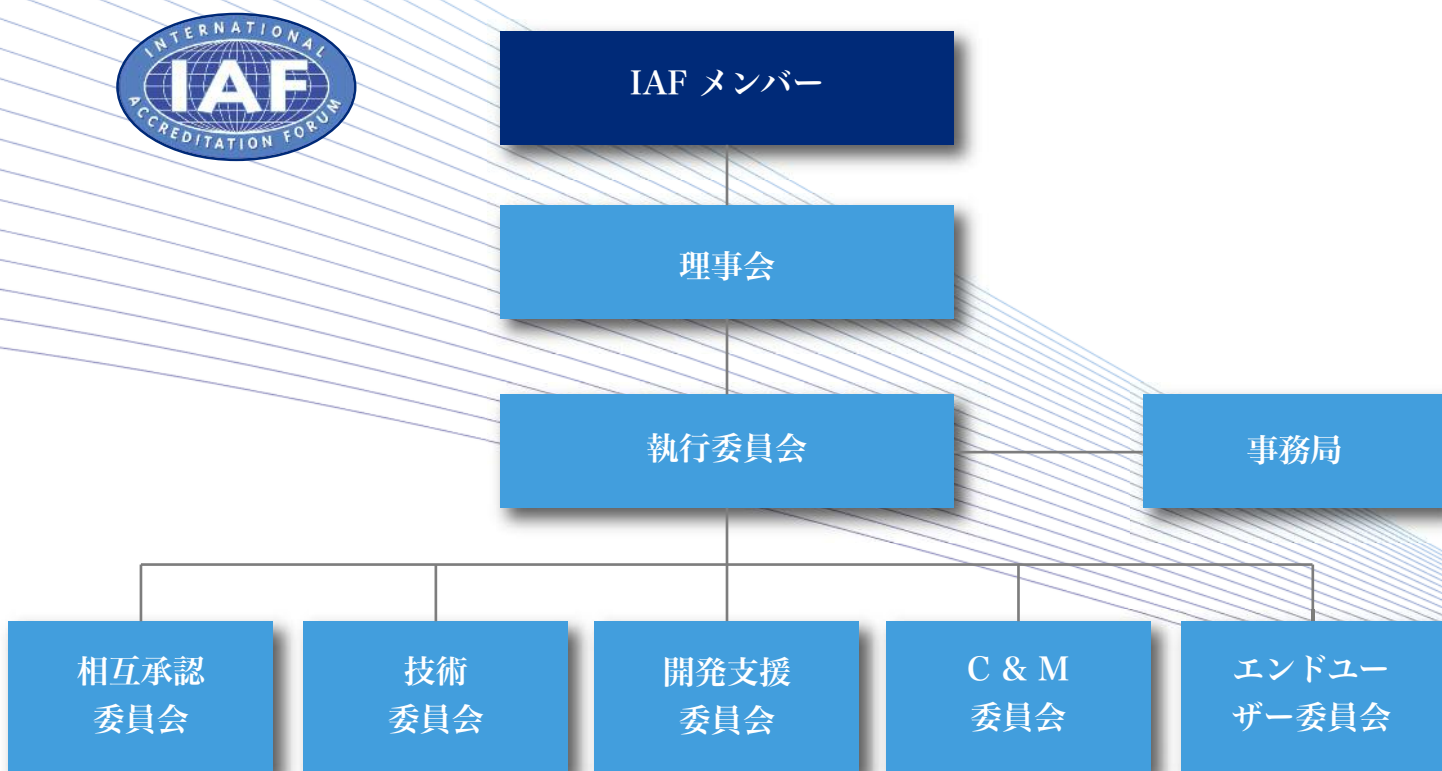


IAFプログラム

IAFは、2つの主要目標に貢献する目標の達成に向けて策定された広範囲のプログラムを用意している。これらのプログラムは、以下の機能を果たすものである。

- 認定、認証および相互承認プログラムの運用に関するガイダンス、規則および手順を策定する。
- 規制当局または政府の要求事項を満たすために法令遵守プログラムの運用に関するガイダンス、規則および手順を策定する。
- ILAC、ISOおよび産業界グループなどの他の関連機関と連携する。
- 低所得経済圏における新しい認定機関を支援する。
- すべての認定機関メンバーが最高水準の能力と誠実さをもって業務を遂行することを保証する。
- 認定機関の間で情報を交換する。
- 国際規格および指針に基づいて認定手順およびその履行を整合させる。
- 審査員その他の要員の教育訓練に協力する。
- 特定の業界のニーズを満たすために特定部門の適合性評価スキームの運用に関するガイダンス、規則および手順を策定する。
- ISOその他の関連国際機関の作業に貢献する。
- 認定機関の地域グループと連携する。

IAFの組織構造



注：C & M 委員会：コミュニケーション・マーケティング委員会

メンバー、理事会および事務局長の委任事項、職務および任務は、内規および覚書 (MoU) により定められる。

IAFにおける最高レベルの権限は、総会のメンバーに与えられている。メンバーは、総会で決議し、方針を定める。

総会は年1回開かれ、認定機関メンバ

ーが交代で主催する。近年では、京 (日本)、ベルリン (ドイツ)、ブラティスラバ (スロバキア)、ケープタウン (南アフリカ) およびオークランド (ニュージーランド) で総会が開催された。

理事会は、メンバーを代表して遂行する訴訟について、IAFの広範な方針指

令の策定について、さらにメンバーにより承認された方針に基づくIAFの日常業務の確実な履行について責任を負う。

執行委員会は、メンバーによる決定および理事会による指令に基づくIAFの日常業務について、理事会に対する責任を負う。

IAF相互承認協定 (MLA)

IAF相互承認協定 (MLA) を締結した認定機関メンバーにより付与された認定は、同等の認定プログラムに基づいて世界的に認知されるため、コスト削減につながり、産業界および消費者への付加価値も高まる。

したがって、マネジメントシステム、製品、サービス、要員その他の適合性評価プログラムの分野においてIAF MLAメンバーが認定した機関により発行された証明書は、国際貿易において信頼されている。

国際規格がなければ、技術的貿易障壁のために、輸入業者および消費者にとって出費が膨らみ、競争が阻害され、製品やサービスの水準がばらばらになってしまう。



MLA調印者

IAFの認定機関メンバーは、その業務について相互評価チームに厳しい評価を受けた後でなければ、MLAへの加入を許されない。メンバー候補が国際規格およびIAFガイドラインの双方を十分に遵守しているかどうかを判断するのは、この相互評価チームの責任である。

MLAのメンバーとなった認定機関は、MLAの他のメンバーにより付与された適合性評価機関の認定の適格性および公平性を認知する義務を負う。

IAFは、3つの地域認定機関グループ、即ち欧州認定協力機構 (EA)、太平洋認定協力機構 (PAC) および米州認定協力機構 (IAAC) のMLAプログラムについて、これらの組織内で確立された相互承認協定を承認することにより、特別に認知した。

IAF MLAのメンバーシップは、認知されたプログラムに関してEA MLA、PAC MLAまたはIAAC MLAのいずれのメンバーシップによっても満たされるものとして認知されている。これらの地域MLAの調印者でもあるIAFメンバーは、認知されたプログラムに関して自動的にIAF MLAのメンバーとして認められる。

品質マネジメントシステム (QMS) に関するIAF MLAは、14のIAFメンバーが中国の広州で相互承認協定に調印した1998年1月22日から運営されている。

環境マネジメントシステム (EMS) および製品認証に関するIAF MLAは、2004年10月に南アフリカのケープタウンで開催されたIAF年次総会で運営が開始された。

IAFは、メンバーの認定プログラムが世界水準であることを保証するため、メンバーが厳しい評価プロセスに合格し次第、MLAに加入するよう奨励している。

IAF MLAへ加入する利点は、MLAのメンバーにより認定された適合性評価機関が世界に広がるIAFプログラムにおいて同等に信頼されることである。

開発途上地域

IAFは開発支援プログラムを通して、低中所得経済圏における新しい認定機関へ技術支援を提供する。

とりわけ新しい認定機関の職員が教育訓練プログラムに参加できるようにするための資金を提供することにより、こういった認定機関への財政援助も行っている。IAFの開発支援プログラムは、低中所得経済圏の認定機関がIAF理事会に代表を出すことも保証している。

また、低中所得経済圏の認定機関がIAF会議に参加し意見を交換する機会から、さらにメンバーに提供される技術支援から恩恵を受けられるように、IAFはかかる認定機関がメンバーシップに加入することを勧めている。

IAF開発支援プログラムには、新しい認定機関の職員のためのワークショップ、セミナーおよび個別研修プログラムが含まれている。さらに、専門家のアドバイスを提供すると共に、新しい認定機関の職員が相互学習環境において、他の認定機関の経験豊かな職員により行われる評価を見学することも奨励している。

IAFおよび国際連合工業開発機関 (UNIDO) は協力して、新しい認定機関のための技術支援プログラムを運営している。





国際認定フォーラム

1つの認証で世界中が認知



IAF Secretariat

Elva Nilsen
28 Chemin Old Chelsea
Box 1811
Chelsea, Quebec
CANADA J9B 1A0

Phone: +1 (613) 454 8159
Email: iaf@iaf.nu

www.iaf.nu